



学校だより No. 9

— 12月号 — 2020（令和2）年11月20日
 聖ウルスラ学院英智小・中学校

いよいよ今年も残すところ1ヶ月余りとなりました。今年は本当にいつもと違う1年になりました。今後の見通しも不安定な状況ですが、まずはしっかりと1年を振り返り、来年へのよいスタートが切れるような1ヶ月になるようにと願っています。

12月は主キリストの降誕を待ち望む「待降節」として大切にしています。特に今年の待降節は、様々な意味で自分と他者の両方の幸せについて考えながら過ごしたいと思います。

《12月行事予定》

日	曜	First	Second	Third	
1	火		〈待降節朝礼1〉 2nd英語RSコンテスト		
2	水		⑥2ndクラブ		
3	木			9年zoom授業	
4	金			8年zoom授業	
5	土	1・2年zoom授業			
6	日				
7	月			T2 9年①～⑤新みやぎ模試	
8	火		〈待降節朝礼2〉		
9	水		5～8年⑥委員会【職員会議日】		
10	木		5・6年zoom授業		
11	金		7年zoom授業		
12	土	3・4年zoom授業			
13	日				
14	月				
15	火	〈待降節朝礼3〉 教員プログラミング研修・短縮授業 ①②通常・③④特編 12:00お弁当 13:10下校(SB学校発)			
16	水	待降節タイム	⑥2ndクラブ		
17	木				
18	金				
19	土			181進路講演保護者会	
20	日				
21	月		①②③授業④集会午後HR等		
22	火		クリスマスお祝い会 SB10:30		
23	水		冬季休業(～1月8日(金)) T1振休(27日分)		
24	木		学校閉鎖		
25	金		学校閉鎖・主の降誕		
26	土			T1課外	
27	日				
28	月				
29	火		学校閉鎖		
30	水		学校閉鎖		
31	木		学校閉鎖(～1月3日(日))		
1/9	土		冬休み明け集会(放送)		

【重要なお知らせ】

1. コロナ感染症に対する動きについて

①zoom 授業トライアル(試験)の分散型実施について

②感染予防対策の再確認と心のケアを含めた指導の実施について

2. 教員「プログラミング研修」に伴う学校の動きについて

1. コロナ感染症に対する動きについて

宮城県内では新型コロナウイルス感染者の報道が連日あり、11月17日時点での感染者数は累計1000名を超え、今後の気温と湿度の低下に伴い、さらに増加することが懸念されます。中でも、県内の小・中・高等学校での感染拡大ならびに感染者確認に伴う臨時休校も増加傾向にあり、本校においてもこれに備えておく必要がある状況にあります。

そこで①として、休校措置に備えた zoom による授業の試験実施「zoom 授業トライアル」を行いたいと考えました。実施は分散型で兄弟姉妹関係にも柔軟に対応いたします。

また②として、改めて感染拡大防止に関する確認と万が一感染した場合を想定した心のケアについての指導を実施したいと考えました。このため校内一斉放送による指導を行います。ご家庭でも改めて予防に対する行動を確認していただくようお願いいたします。

つきましては、下記をお読みいただき、それぞれの動きについてご理解とご協力をお願い申し上げます。

①zoom 授業トライアルを分散型実施いたします。

実施日 1・2年…12月5日(土) 3・4年…12月12日(土)
5・6年…12月10日(木) 7年…12月11日(金)
8年…12月4日(金) 9年…12月3日(木)

方法 ・上記当日、当該学年は登校せず、家庭等で zoom による双方向授業を受ける。

・zoom 授業は午前の4時間、原則時間割通り。

・午後は、家庭学習や前日までに与えられる課題に取り組む。

・希望者には iPad の貸与が可能。⇒担任にご相談ください。

・当日の部活動は制限いたしますので、各部顧問からの連絡に従ってください。

※各前日までに接続テストを行います。また、時間割も含め、詳細は検討中です。決まり次第ご連絡いたします。何かありましたら学校までご相談ください。

12月《zoom 授業トライアルカレンダー》

月	火	水	木	金	土
	1 待降節朝礼	2	3 9年	4 8年	5 1・2年
7 T29 模試	8 待降節朝礼	9	10 5・6年	11 7年	12 3・4年

②予防指導

実施日 11月24日(火) 朝に一斉放送による「コロナ第3波対策」指導を行う。

内容 ・感染防止対策 ・感染に対する心のケア

2. 教員「プログラミング研修」に伴う学校の動きについて

12月15日(火)に標記教員研修を行うことになりました。下記をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

12月15日(火) 通常登校・13:10下校(SB 発車)・お弁当の日・光クラブあり

研修Ⅰ 11:00～12:00 2A クラス

研修Ⅱ 13:30～15:00 7B クラス(7Bのみモデル授業の後、自力下校)

※部活動は制限いたしますので、各部顧問からの連絡に従ってください。

【その他・行事予定に関して】

12月（11月号から変更なし）

・セカンド暗唱スキットコンテスト

一堂に会してのコンテストはせず、「クラス単位」で「暗唱のみ」コンテストです。

・クリスマスお祝い会

例年、サードステージは高校のクリスマス祭儀に参加し、ハレルヤも歌っておりましたが、今年は放送で行われる小・中学校のクリスマスお祝い会に参加します。

・藤崎クリスマス・クリスマス街頭募金活動

藤崎クリスマスは主催者様側より中止の連絡がありました。併せて街頭募金活動も中止といたします。学内でのクリスマス献金等は行われますので、今後のお知らせをご覧ください、ご協力をお願いいたします。

1月

・冬季休業の日程に変更はありません

12月23日（水）より1月8日（金）までお休みです。1月9日（土）より登校です。

2月（11月号から変更あり）

・高校入試に伴う小・中学校の動きについて

2月1日（月）～4日（木）臨時休業となります。

高校入試が2月2日（火）と2月4日（木）に行われます。小・中学校は登校日となっておりますが、コロナ対策も含めた試験会場の関係で1～4日の4日間、臨時休業とすることが決定になりました。また、この週末に予定されている参観日も、日程や持ち方を変更する予定です。決まり次第お知らせいたします。

ほめたたえ

☆令和2年度 仙台市読書感想文コンクール

最優秀賞	1年	中村友馬	「なみだができるということ」
優秀賞	5年	鈴木舞優	「堀田さんから学んだこと」
部会長賞	1年	川口十和	「小石がいなくなったシルベスター」

☆令和2年度 青少年読書感想文コンクール 宮城県小学校部会

優良賞	1年	中村友馬	「なみだができるということ」
-----	----	------	----------------

おわりに…

新型コロナ予防対策について、宮城県保健福祉部疾病・感染症対策室よりチラシが届きました。これについては一斉メールでも配信し、紙でも児童生徒に配る予定です。連休を前に改めて意識を高く持っていただきますようお願いいたします。

チラシはこちらからご覧いただけます。



11月 聖書のみことば

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」

コリント信徒への手紙Ⅱ 4章18節

「髪置き」「袴着」「帯解き」。これらは、七歳まで育つのが当たり前ではなかった平安時代、三歳、五歳、七歳の節目に子の成長を祝い、長寿と幸福を祈願するために行われた儀式であるといわれています。医療が発達した現代においても、これに倣った七五三のお祝いが残っているのは、子を思う親心は時を超えても変わらず永遠であることの証であろうと私は思います。本校でも、11月7日、1年生の七五三お祝い会が聖堂で行われました。今年は残念ながら保護者の皆様をお招きすることはかなわなかったのですが、子どもたちの健やかな成長を祝い、神様のお恵みに感謝する、厳かな中にも温かさのあふれる式となりました。

私は1年生の音楽の授業を担当しています。七五三お祝い会の際に、ぜひ子どもたちに歌ってほしい歌がありました。小林章吾さん作詞・作曲の「ありがとう」という歌です。この歌には、1番は友だちに、そして2番は両親に「ありがとう」を伝える歌詞が綴られています。お祝い会の10日ほど前の音楽の時間に、お祝い会で歌うこの歌で、おうちの方にどんな「ありがとうの気持ち」を伝えたいか、子どもたちに問いかけてみました。

「ありがとう」2番

ほくが うまれたあさに
はじめて みたのは えがおさ
おとうさん おかあさんの
うれしそうな えがおさ

ほめられ しかられたときでも
つぎの日は にっこり『おはよう』
いつでも えがおで ゆるしてくれる
おとうさん おかあさん

てれくさいから なかなか いえないけど
あなたに つたえたいことばが あるんだ

ありがとう ありがとう
『ありがとう』って すてきなことば
ありがとう ありがとう
いつまでも 『ありがとう』
こころから 『ありがとう』



『うんでくれてありがとう、そだててくれてありがとう、おせわしてくれてありがとう、およろいをつくってくれてありがとう、がっこうにかよわせてくれてありがとう、そばにいてくれてありがとう、みまもってくれてありがとう、やさしくしてくれてありがとう、たいせつにしてくれてありがとう…』1年生の子どもたちからは、たくさんの思いがあふれてきました。私は胸が熱くなり、涙がこぼれ落ちそうなのをこらえるのがたいへんだったくらいです。

「ありがとう」と言えば耳に聴こえます。「ありがとう」と書けば目に見えます。でも、「ありがとう」の言葉に込められた思いは、実のところ見ることができません。それと同じように、親御さんが我が子のためにたくさんの手をかけ、言葉をかけてきたその根っこのある深い思いも目で見ることにはできないのです。けれども、子どもたちは確かに、見えない親御さんの思いを心いっぱいを感じ取っていました。あの音楽の時間、そして、お祝い会で歌っているときに見せてくれた子どもたちの幸せそうな顔は、その根っこに息づく親御さんへの無償の愛を感じさせる、本当に尊いものとして私の心に染み入りました。

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」この今月の聖書のみことばは次のように続きます。「見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」目に見えるあふれんばかりの情報に惑わされることの多い時代にあって、本当に大切な、目に見えないもの、目に見えるものの奥にある永遠に続くものに心を向ける人でありますように。私は、七五三お祝い会を終えたばかりの1年生だけでなく、大人になりかけたウルスラ英智の子どもたちを思い、心からそう願っています。

教務部長 渡部 久美子